

ののいちサステナブル住宅支援事業

ののいち環境きくばり住宅

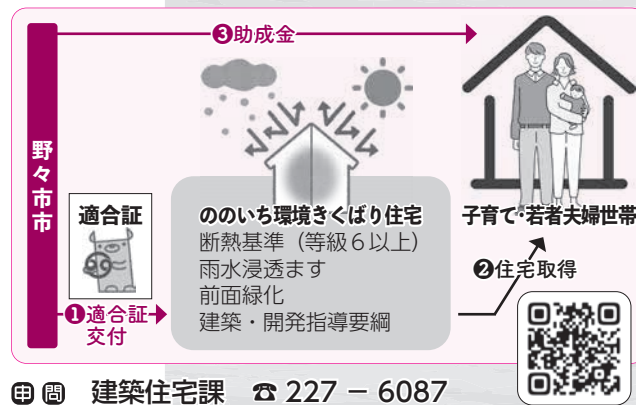
環境対策（温暖化対策と災害対策など）に配慮した住宅の普及に向け、基準に適合した住宅に適合証を交付し、その住宅を取得する子育て世帯などに助成金を交付します。

対象

ののいち環境きくばり住宅（適合証の交付を受けた市内の新築戸建て住宅）を取得する人で、次のいずれかの世帯

- ・18歳未満の子を有する
- ・夫婦いずれかが39歳以下

助成金額 40万円



ののいち木のぬくもり住宅

石川県産木材の利用促進を図るため、市内に居住するために木造戸建て住宅を新築（購入も含む）または増改築する人へ補助金を交付します。

対象

自ら居住するため、市内に木造戸建て住宅を新築・購入・増改築する人

対象住宅

1戸建て木造住宅で、県産木材の柱（集成材を含む）を50本以上（増改築の場合は20本以上）使用。
※柱は以下の基準を満たす必要あり

- (1)長さがおおむね3メートル以上で、10.5センチ角以上
- (2)県産木材の証明書がある（県産木材取扱事業者に登録している事業者から発行）
- (3)乙種構造材*である
※柱など圧縮性能を必要とする部分に使用するもの

補助額

最大25万円
（柱1本あたり2,500円）

④ 土木課 ☎ 227 - 6081



野々市市環境週間 in 無印良品

無印良品野々市明倫通りを会場に、野々市市や無印良品でのリサイクルの仕組み、温暖化対策について紹介するパネル展示を行います。無印良品によるワークショップも開催！

パネル展

期間 6月15日(土)～21日(金) 10:00～20:00

※21日(金)は16:00まで

④ 市民生活課 ☎ 227 - 6052

ワークショップ（無印良品主催）

「端材を使ってコインケースを作ろう」

日時 6月15日(土) 11:00、13:00、14:00、15:00

全4回、所要時間30分程度

定員 各回8人程度

参加費 300円

その他 ・小学生以下は保護者同伴
・「ののさん」マイボトルをプレゼント

④ 無印良品野々市明倫通り ☎ 294 - 1147

家庭用生ごみ処理機などの購入費用の一部を補助

家庭から出される生ごみの減量や堆肥化による循環型社会の構築のため、生ごみ処理機などの購入費用の一部を補助します。

対象機器

- (1)生ごみ処理機
- (2)コンポストなど生ごみ処理容器

補助金額

本体の購入費用（税込み）の2分の1

補助上限額

生ごみ処理機 30,000円

生ごみ処理容器 3,000円

※詳細は市ホームページをご覧ください

④ 市民生活課 ☎ 227 - 6052



6月5日は環境の日、6月は環境月間。環境について考えることは、生活について考えること。
地球温暖化、リサイクル、環境保全。
あなたはどんなことに興味がありますか？
どんなことに取り組んでみたいですか？

④ 市民生活課 ☎ 227 - 6052

野々市市カーボンニュートラル[※]推進プラン

〔第2次野々市市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）〕を策定しました

市の温室効果ガス（二酸化炭素）の排出割合は、産業部門は小さく、業務その他部門や家庭部門が多いという特徴があります。プランに基づき、市民、事業者、行政の協働で二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいきます。

計画期間 2024年度から2030年度まで

目標 二酸化炭素を2013年度比で50%削減

プランが目指すのは？

「二酸化炭素の排出量の削減」だけでなく、次の視点を重視し、市民の利便性や生活の質の向上、魅力あふれるまちづくりの実現をめざします。

- ・楽しく取り組める
- ・無理せず続けられる
- ・環境だけでなく、健康や節約にも効果がある
- ・災害に強いまちになる
- ・野々市の魅力を再発見できる
- ・ずっと住み続けたいまちになる



キーポイントは？

1. 「省エネ」
二酸化炭素の発生源となるエネルギー消費を抑制する
2. 「創エネ」
二酸化炭素を排出しないエネルギーを創出する
3. 「行動変容」
カーボンニュートラルに向けた選択を積極的に行う



ゼロカーボンシティ推進ロゴマークを作成



金城大学短期大学部にデザインを依頼し、市内での投票の結果、穴田遥香さんの考案したデザインに決定しました。
ちょっとした外出には「せめて自転車を使って行ってみませんか」という気持ちから、白猫「ののさん」が自転車に乗っているデザインです。「気を張らないで、猫のように、ゆったり気ままにやっていこうよ」そんな想いが込められています。

ごみの焼却によるバイオマス発電を活用し 地域のゼロカーボン化を推進

令和6年4月から、松任石川環境クリーンセンターで生ごみや木くずの焼却処理によって発電した“二酸化炭素排出ゼロの電気”を、市庁舎などの公共施設で利用して地域のゼロカーボン化を推進しています。



市内で収集した「一般ごみ」や「燃える粗大ごみ」を焼却する際に発生する熱を利用したバイオマス発電を行っています。効率的な発電を行うためにも、引き続き、ごみの分別と減量化に協力ください。